

TOYO

東洋大学校友会 鹿児島県支部
INFORMATION MAGAZIN of
KAGOSHIMA BRANCH
TOYO UNIVERSITY
ALUMNI ASSOCIATION 2021 Vol.16

令和3年度版
支部会報



来年こそは！ 必ず！！



東洋大学校友会
鹿児島県支部長 西村正一郎

校友会鹿児島県支部会員の皆様におかれましては、益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。日頃より支部活動にご理解とご支援を賜り心から感謝致します。さて、降つて湧いたような新型コロナウイルスの流行に、私たちの世代では経験したことのない行動の制限を求められて1年半以上になります。そのため、令和2年度、3年度と続けて総会、懇親会は中止となり、開催を待ち望んでおられる皆様には申し訳なく思うところです。

校友会本部におきましては、神田雄二会長を中心に今までに無い活動が展開されています。卒業生情報の共有と大学からの「支給金・協力金」支給検討開始。校友ネットワークのIT化の推進。メルマガ登録者数3万人の目標。「HandstoHand」で学生支援。東京オリ、パラ出場者への「校友会長特別賞」授与など…九州の支部長らと連携しながら鹿児島県支部もこの改革がスムーズに進行できるように協力していきたいと思っております。

来年こそは！必ず！！ワクチン接種も進み来年8月には総会・懇親会が開催出来ると信じています。明るく、元気な顔で皆様と久しぶりにお会い出来ることを楽しみにしています。これからも、東洋大学を鹿児島島の地から応援、支援し校友同志の親睦を深めていきたいものです。今後とも引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

8月6日(土) 支部総会・懇親会 開催予定

場所 鹿児島サンロイヤルホテル ☎099-253-2020 鹿児島市与次郎1丁目8-10

なお、令和4年 新年会に関しましてはコロナの感染状況・箱根駅伝の結果を見て、有志の方々と集まるという形をとりたいと思います。

令和4年
2022



池田「銀」 山西「銅」

挑戦者、大一番で意地



運気きのヒロイン
競泳-大橋 悠依「金2個」



高速ピッチが持ち味
池田 向希「銀」



運気きのヒロイン
競泳-大橋 悠依「金2個」

東洋大学史上最多 2021東京五輪の日本代表 在学生3名、卒業生12名

東洋大学の在学生卒業生で東京五輪の日本代表に内定している選手は、在学生3名、卒業生12名の計15名に上り、2016リオ大会の出場人数8名を超え、東洋大学史上最多となっています(2021年7月時点)。

池田 向希(銀メダル1個) **銀**
 本学卒業生の池田向希選手(2021年3月経済学部卒業/旭化成所屬)が陸上男子20km競歩で「銀メダル」を獲得しました!「8月5日」

大橋 悠依(金メダル2個) **金****金**
 本学卒業生の大橋悠依選手(2018年3月国際地域学部卒業/イトン東進所屬)が競泳女子200m個人メドレーで「金メダル」を獲得!日本競泳女子で史上初の2冠を達成しました。「7月28日」

競泳女子400m個人メドレーで「金メダル」を獲得しました!「7月25日」



高速ピッチが持ち味
池田 向希「銀」



運気きのヒロイン
競泳-大橋 悠依「金2個」



2021年 校友会本部の活動

校友会オンラインはパソコン、スマートフォン、iPad等に対応しています。

東洋大学校友会 検索

メルマガ会員募集中

東洋大学校友会オンライン ホームページ



FaceBook



Twitter

新たな組織文化の形成に向けて

校友会会長 神田 雄一



鹿児島県支部の皆様には日頃より校友会活動にご尽力いただき感謝申し上げます。校友会は「新しい時代の魅力ある校友ソサエティの実現」をビジョンとして掲げ、校友会の活性化と改革に取り組んでおります。大きな柱は校友会の組織体制の整備とコミュニケーション改革でしょう。中でも一般社団法人化は組織としての「社会的信用」や「透明性」の確保さらに「説明責任」の確立などにより、自らを律しつつ会の目的を達成する上でとても重要であります。今後の運営は、全校友の代表組織として開かれた組織を目指し、全世代、地域はもとよりキャンパスや職域等の網羅性に配慮し新たな組織づくりを目指してまいります。特に次世代の校友会を担っていただく若い年代層や女性の校友にも多数参加頂けるよう努めたいと考えております。

制度が形骸化する原因には組織文化が必ず問題となっています。校友会

も新しい時代に対応した多様性を重んじた持続可能な組織でなければなりません。これは一朝一夕には形成されません。建設的な考え方により、大学の興隆発展への寄与を共通目的とし、校友間の親睦を深める団体として新たな組織文化の構築に注力したく考えております。新たな組織文化を形成する上でICT化の推進は大きなツールとなります。校友の皆さまには、リニューアルした校友会ホームページからぜひメルマガジンのご登録をお願いいたします。本部から定期的に卒業生や大学の情報をご登録いただいたメールアドレスに直接お届けしております。皆さまと共に新たな組織文化の形成を目指して奮闘して参りましょう。



ON-LINE抽選会での神田会長

オンライン校友大会(校友会史上「初」のネット大会)を開催 10月24日(日)

●卒業生による講演会 ●真面目な雑談「マジ雑」特別編 ●ON-LINE抽選会

- 卒業生による講演会は、YouTubeで限定公開中。
<https://www.alumni-toyo.jp/news/alumni-tournament-session1-movie/>
- 「グリコ森永事件」を追い続けるジャーナリスト 岩瀬達哉氏
<https://www.youtube.com/watch?v=pASdPa2-Nlg>
- グローバルから見る日本を語る 茅根哲也氏
<https://www.youtube.com/watch?v=02oBwoguAec>
- ICT教育最前線を走り続ける 岩船尚貴氏
https://www.youtube.com/watch?v=ASGmB5oG_0M



決して鹿児島支部のON-LINE抽選会の景品 西村支部長のセンスが光ります。

鹿児島県防災研修センターの御案内

副支部長 松永 幹太

校友会副支部長の松永です。私の勤務する鹿児島県防災研修センター(始良市)について御案内いたします。ご家族や学校、町内会などの方々の利用も多いので、ぜひお気軽に御来館ください。当センターでは、県民の皆様を対象に、大型のモニター画面や模型等の展示施設使って、災害への備えなどを分かりやすく解説しており、自由に見学

できます。また、毎月第3土曜日には、「ふれあい防災教室」を開催しています。思わぬ災害!いつ自分の身に降りかかるか誰も予想できません。防災を家族みんなで考え、学ぶきっかけとする教室です。「非常持出品の備え」と「災害時の連絡方法」、「段ボールで作る防災グッズ」など毎月テーマを設けて行っています。



非常用持出品を準備しよう!

非常用持出品は避難する時必ず持ち出すべきものです。非常用持出品袋に入れ、玄関など持ち出しやすい場所に置いておきましょう。

- 避難所では配給されない、メガネや常備薬など個人特有のものを優先して準備
- 家族構成に応じて準備することが重要
- 最低3日分(できれば1週間分)の準備
- 家族各自がそれぞれ準備、重さは体重の10分の1程度がのぞましい

貴重品類	避難用具	生活用品	救急用具	衣料品
<input type="checkbox"/> 現金、10円玉 <input type="checkbox"/> 貯金通帳 <input type="checkbox"/> 印鑑 <input type="checkbox"/> 保険証、免許証 <input type="checkbox"/> 非常食品 <input type="checkbox"/> 乾パン・缶詰 <input type="checkbox"/> 栄養補助食品 <input type="checkbox"/> アメ・チョコレート <input type="checkbox"/> 飲料水	<input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input type="checkbox"/> 予備の乾電池 <input type="checkbox"/> ヘルメット <input type="checkbox"/> 防災ずきん <input type="checkbox"/> 携帯電話の充電器 <input type="checkbox"/> ウォータータンク	<input type="checkbox"/> 厚手の手袋、スリッパ <input type="checkbox"/> 手指消毒用アルコール <input type="checkbox"/> 毛布 <input type="checkbox"/> 缶切り、ナイフ <input type="checkbox"/> ライター、マッチ <input type="checkbox"/> 携帯トイレ <input type="checkbox"/> ラップフィルム	<input type="checkbox"/> 救急箱 <input type="checkbox"/> 処方箋の控え <input type="checkbox"/> 胃腸薬・便秘薬 <input type="checkbox"/> 持病の薬 <input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 携帯用カイロ	<input type="checkbox"/> 防寒用ジャケット <input type="checkbox"/> 下着・靴下 <input type="checkbox"/> 長袖・長ズボン <input type="checkbox"/> 雨具

防災センターに展示されている防災グッズ

お問い合わせ
鹿児島県防災研修センター
 〒899-5652 鹿児島県始良市平松6252番地 電話0995-64-5251 <https://kagoshimabousai.jp/>
 ●開館時間/8時30分~17時 ●休館日/月曜日(祝祭日の場合翌日)、12月29日~1月3日
 ●アクセス ●高速利用/始良ICから約10分 ●一般道利用/国道10号バイパス脇交差点山側に折れ約5分

Hands to Hands 2021 Hands to Hands支援は東洋大学校友の心意気♡

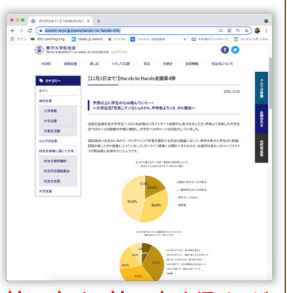
鹿児島県支部も九州限定うまかつちゃん・鹿児島ラーメン90食送る

東洋大学南水会、東洋大学校友会、学生協後援の「Hands to Hands 2021」として、鹿児島県支部からは昨年10月に続き第3弾で、九州の味、鹿児島を思い出して欲しいとの思いで「九州限定うまかつちゃん&鹿児島ラーメン亭」90食を、去る5月12日に発送しました。コロナ禍における多くの学生達に喜んでもらえれば、嬉しく思うところです。

学生の心に届いた東洋大学心の樫 ころろ温まるエピソード(校友会HPのリポートより)

今年の6月に多くの校友から頂いた支援物資の配布が始まったある日、校友会の事務所に小さな声で「すみません。こちらが卒業生の事務所でしょか」と女子学生が訪ねてきました。若い女性が事務所を訪れることは滅多にないので、どうしたのかと思いつつ「はい。そうですが…」と答えると、「今、下でお米などを頂いたのですが、職員の方から上の階にある校友会からの発信で大勢の卒業生の方々から応援してくれたと聞いたので、一言お礼をお伝えたくて。有難うございました!」とのこと。せっかく来室頂いたので冷たいお茶でもどうぞと座って頂き、お話を聞くことが出来ました。彼女は女性比率が5割を超える社会学部の2年生で東北から東洋大学に入り一人暮らしをしていました。勉強は実践的で大変面白いことから始まり、やがて生活の愚痴をぼつりと。親御さんは飲食店を営んでおり、ご自身を含め3人兄弟とのこと。このことを校友の方に是非お伝えしたかったのです。大学支援に協力してくれる校友の方々を誇りに思っています。

も大変そうでした。彼女自身、食費はバイトで稼ぐつもりでしたが、バイト先が限られており、オンラインの家庭教師でなんとか踏ん張っているなど笑顔で明るく話してくれました。彼女は最後に「見も知らずの私達に食料を支援してくれるって、正直よくわからなかったんです。伝統のある学校って先輩が凄いなと素直に思いました。私も卒業したら、先輩達のような優しい人となり恩返ししたいです。」と言ってくれました。3回目の募集が集まった食料は約10000件。全体の8割を卒業生が占める結果に。また、数日間分とはいえ食料を手にとることができた学生は約500名。受け取った学生から寄せられたありがとうのメッセージを読んだ方も多いと思います。今回訪ねてくれた彼女も学びを諦めず前向きになれた一人でした。



Hands to Hands支援ページ
 左記の記事は校友会のページより全文を読むことができます。



鹿児島県支部から送ったラーメン

叙勲の受章にあたって

平川 久嘉

(昭和42・経済)

思いもよらない知らせ

令和三年春、私は地方自治功労による叙勲(旭日双光章)受章の榮に浴することが出来ました。知らせは思いもよらないことで信じ難いものです。日本国天皇からの授与で改めてその尊さ、重さを思い、感謝の気持ちで一杯になりました。

今日までこれといった秀でたこと、目立った活躍など出来なかったと思う私にも、自分らしい生き様、やり甲斐を感じて頑張った時があったことを思い起こすことが出来ました。新型コロナウイルスの収束に向けて引き続き三密防止やマスクの着用が求められるなど、各人の行動が制約されるなか、自分を振り返る良い機会と受章に思い当たることを考えてみました。

強いて言えることは、社会人として働いた主な職業が自衛官、新聞記者、市議会議員と国や地域に大いに関わりのある勤務であり、その職務を地道に真面目に遂行してきたことが認められたからではないかと思えます。

その間には職場の上司、同僚、後輩、地域の支持者、家族と多くの方々の親切なご指導、ご支援があったからこそであり、お世話になったこと、感謝の気持ちを忘れてはならないと思っております。

夜間の経済学部経済学科に入学

昭和41年に地元の高校を卒業後、国分の陸上自衛隊教育隊に入隊、東洋大学へは自衛官と勤務しながら翌42年に夜間の経済学部経済学科に入学し、46年には卒業することが出来ました。

在学中は日米安保反対の学生運動が最も活発な頃で、首都圏ではベトナム反戦デモや大学のロックアウトがあり、一般の学生がまともな授業を受けられない混乱の時でした。卒業のためにテキストや参考文献を探し苦勞してレポート作成にあたったものです。

中学生の頃からの夢であった奄美の先生になるための教員免許も取得し、休暇をとって鹿児島県の教職員採用試験に挑戦したこともありましたが、力及ばず諦めたのも苦しい出です。

長年の自衛官勤務

35年余の自衛官勤務ではいろんなことを学び体得することが出来ました。訓練による心身の鍛錬や知識・技能の修得から組織の員としての地位や役割に応じた使命感、強い責任感、団結心、戦史、戦術、戦技、更に平和や防衛に関する事項など多岐多様でした。

勤務地は九州を始めに、関東地方約25年、北海道8年と半年になります。家族からは生活の利便さ、築いた隣人達との友情などを理由にこの地に住みたいと意見も出しましたが、私の定年後は「郷里に帰り奄美の地に骨を埋める」の思いに理解してくれました。

地元新聞記者と町議会議員時代

奄美に帰った直後から幸運にも地元の新聞社支局に勤務することが出来ました。取材や報道を通してお世話になった人々への恩返し出来る職務に全力で取り組みました。支局勤務は約2年半と短いですが、この時期は政府による平成の大合併が押し進められた最中で合併の可否を模索する群島内の市長村首長や地域住民の声を取材するために奔走したことが思い出されます。

ところが思いもよらない新聞社の破産で解雇になり、これからどうしようかと思索している時に町会議員の選挙がありました。住民の代弁者としての活動や故郷に恩返しができる良い機会と思い、意を決して立候補し、多くの方々の支持を得て当選することが出来ました。その後も引き続き奄美市議会議員として就任、4期15年の議員活動に努めました。

奄美市議会議員時代

議員活動では行政の施策推進、課題解決への取り組みなどの審議、討議を通じ、市民が安心して安心して暮らせる生活基盤づくりに留意しつつ公約の実現に努めてきました。この間に関わった印象に残る事業には全国でも例の少ない1市1町1村の飛び地合併の誕生、奄美の集中豪雨被害、瀬戸内町、奄美市への陸上自衛隊の配備、地域の均衡ある発展、少子化対策、教育の機会均等のための大島北高の存続をかけた施策、念願かなっての奄美大島・徳之島沖繩島北部・西之表島の世界自然遺産登録があります。

この度の叙勲受章にあたって改めて改めて光栄に思うとともに、お世話になった皆様への感謝の気持ち忘れず精進し、今後も一人の住民として社会や地域に可能なかぎり役立つ働きをしていきたいと思えます。

SDGsを自分の「いふこと」

6年間25回にわたる横山校友の南日本新聞「ひろば」への投稿から

SDGsを自分の「いふこと」

「持続可能な開発目標」(SDGs)という言葉は聞いたことがあったが、どのようなものがあるか知らなかった。15日付本紙社説「学ぼうSDGs子どもに大切な課題」を読み、その概要を知ることができた。

全国21社の新聞社が行った小学生アンケートによるとSDGsを「知っている」との回答は48.5%に上がったという。認知度が上がっている。果たして私たち大人は何%の人が「知っている」と答えるであろうか。

SDGsは2015年の国連サミットで採択された17の国際目標だ。気候変動対策や教育

育の保障、貧困の撲滅など世界が「丸」となって達成すべき目標で構成されている。30年までに念にするが2015年から6年近く。現在までの歩みはどうだろうか。SDGsという言葉や内容が、人々の中にまだ浸透していない気がする。地球の将来を自分のこととして捉え、大人と子どもが「体」となって身近なところから活動していくことが大切だと思う。

母の姿勢がツワブキの季節

大好きなツワブキの新芽の出る季節になった。決まって母の姿を思い出す頃でもある。母はどの山から採ってきたのか、抱えはど



を降ろすと、慣れた手つきでむき始めた。指先は次第にあくで真っ黒になっていく。

それを見て私が「指先が真っ黒じゃらお」と言っても、母は全く意に介する様子などなく、手を休めることもなかった。その日の夕食に出るツワブキの煮しめは、まさに「忘れることのない「おふくろの味」だった。

妻の実家の畑の隅には、ひと春食べるには十分なほど植えてある。義父が生前、ツワブキを食べるところを目にしたことはなかったが、植えたのに違はなく、恩恵に俗することが出来る。実家に帰るたびに採ってきて、母の姿と重ねながらツワブキむきは専ら私の役目である。そ

ながらツワブキむきは専ら私の役目である。その

して、妻の作ってくれる油いためは「おふくろの味」に代わって絶品であり、これをさかんにして楽しむ晩酌は最高である。

無職 横山 龍夫(74) 米の大切さを、この一連の「実りの秋」収穫の秋、活動を通して子どもたちを迎えた。宮川小学校の5人1人が感じ取ることができたと思う。やがて大人になり、次の世代へ引き継いでいく意味でも、貴重な体験となる。自分自身、会員になるまで米作り経験は全くない。活動を通して、子どもたちから来年1月のもちつき大会に招待してもらい、脱穀の作業を終えた。自分の体が丈夫な限りは、米作りには多くの仲間がかかること、農家の子どもたちの手助け活動にたの苦労がどれほどなのか、日本人の主食である

子どもたちと共に米作り学ぶ
11/13(土) 自分自身、会員になるまで米作り経験は全くなく、この活動を通して多くのことを学んだ。子どもたちから来年1月のもちつき大会に招待してもらい、脱穀の作業を終えた。自分の体が丈夫な限りは、米作りには多くの仲間がかかること、農家の子どもたちの手助け活動にたの苦労がどれほどなのか、日本人の主食である

No.23 コロナ収束を信じて前向きに

無職 横山 龍夫(74) 開けていない状況だ。新型コロナウイルスの接種が全国で進められているが、変異株の影響で感染拡大に歯止めがかからない。鹿児島でも過去最多の新規感染者が確認されるなど勢いを増している。

私たちのシニアクラブは、例年4月に行っていた総会を昨年に続き中止した。役員会すら1回も

ゴルフはマスク着用で実施している。猛暑の中、

ゴルフはマスク着用で実施している。猛暑の中、マスクを着けてのグラウンドゴルフは息苦しくて、集中力が続かず成績もよくない。

家にももっているばかり、外での活動はしついで続くのか不安が胸をよぎるが、必ずや収束することを信じて前向きに進んでいきたい。

南日本新聞「ひろば」欄 投稿掲載一覧表(2015~2021)

No	西暦	年号	日付	タイトル
1	2015	平成27年	2/20(日)	シニアクラブで余生を楽しむ
2	2016	平成28年	10/1(土)	日本語の奥深さを再認識した
3	2017	平成29年	5/20(火)	「山の神」柏原選手の引退に思う
4	2017	平成29年	9/13(水)	仲間と楽しくグラウンドゴルフ
5	2018	平成30年	1/13(土)	新連載小説「囃の獅子」に期待
6	2018	平成30年	4/15(日)	本紙「かごしま講座」に学ぶ
7	2018	平成30年	11/13(土)	子どもたちと共に米作りを学ぶ
8	2019	平成31年	4/7(日)	雄川の滝周辺整備を願う
9	2019	令和元年	7/5(日)	地域ケア推進会議に出席して
10	2019	令和元年	8/14(水)	子どもたちに学ぶ表現の無限さ
11	2019	令和元年	10/12(土)	柿の木に思うノスタルジア
12	2019	令和元年	11/14(木)	「お化け」の鹿児島島弁に学ぶ
13	2019	令和元年	12/22(日)	シビッチョン釣りの思い出
14	2020	令和2年	2/22(日)	福祉バス利用し小旅行楽しむ
15	2020	令和2年	4/21(火)	食卓彩る旬のタケノコに感謝
16	2020	令和2年	8/9(日)	カノコユリに母の面影しのぶ
17	2020	令和2年	10/25(日)	懐かしい「いずん弁」に出会った
18	2020	令和2年	12/30(水)	「ひろば」は楽しい勉強の場
19	2021	令和3年	3/10(水)	母の姿勢がツワブキの季節
20	2021	令和3年	4/18(日)	季節の移ろいを感じる散歩楽しみ
21	2021	令和3年	5/13(木)	「食歳時期」解説と写真楽しむ
22	2021	令和3年	6/18(金)	「ヤマコブ」の遠き思い出を胸に
23	2021	令和3年	8/13(金)	コロナ収束を信じて前向きに
24	2021	令和3年	9/18(土)	SDGsを自分のこととして
25	2021	令和3年	10/30(日)	二十四節気 また一つ勉強した

横山 龍夫 (よこやまたつお)
昭和44年文学部国文学科卒業。鹿児島県公立小学校教諭として、初任校は国分市立(霧島市)本戸小学校、最後に日置市立伊集院北小学校と38年間8校の小学校に勤務の後に現在に至る。



月影を浴びる島々蒼く浮く
月の波明るく綴じる島づたい

句／西村正一郎（月影と月の光のこと）
句／西村セツ

銀色の海の道あり里の月

句／松下正拳（実家からも同じ風景が見えます）

西村支部長と松下副支部長に写真を題材に俳句を詠んでもらいました。

中秋の名月／笠沙高崎山／松下副支部長実家の近くの道路脇から（2021年9月21日）

Canon EOS 5D Mk III, Panasonic Lumix S5, DJI Phantom Pro4
Tamron 15mm-30mm F2.8, Tamron 70mm-200mm F2.8, Canon EF85mm F1.8
Adobe Lightroom, Adobe Photoshop

次第に見慣れた生活風景になつていたのでしよう。しかし、1〜2年程前から妻の両親が急に足腰が弱くなつてきております。高齢で免許も返納することになり、日々の買い物等で両親が不便しているのではないかと気がかりな妻と一緒に加世田に毎週のように様子見に行くようになりまして。そんなある日、ふと思つたのが、「妻がいる時は暇だし、ずっと付きっきりじゃなくても良い訳で、写真でも撮りに行こうかな？」と。そうなる両親の様子子見のついでに写真撮影も目的に入れ、早朝行ってみたり、夕方に用が済み加世田から鹿児島市内に帰る途中、あえて遠回りし、笠沙や黒瀬などに寄ってみたりとコースを変えてみたりと冒険するようになりました。すると景色が全然見違えるようになりました。水田に映る朝日と金峰山、満点の星空に天の川が登る野間池：今まで20年以上通っていないながら、こんな良い景色に全く目が行って

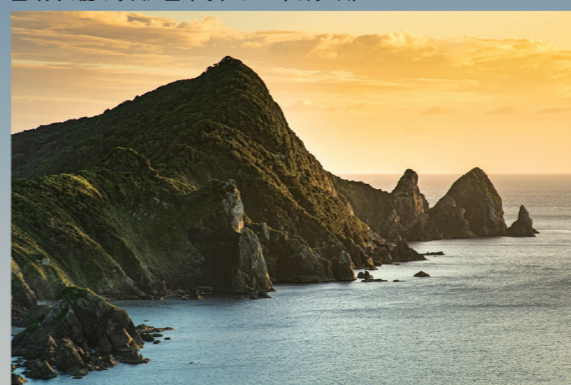
ませんでした。これはカメラマンとしては失格ですね（苦笑）。ただ、南さつまは鹿児島市内から遠いので早朝を狙うには、朝4時とか家を出ないといけません。そういう訳で、あと数年したら南さつまに活動拠点をもちたい、朝日の昇る早朝から星の見える夜まで写真に撮って収めたい、発信したい、可能なら私本を発行したいと夢が広がります。本を出すなら自然風景だけでなく、イベントや歴史・風俗も撮ったり調べて盛り込むとさらに面白くなるでしょう。縄文時代の志風頭・楯ノ原遺跡、弥生時代前期の高橋貝塚、日本書紀や古事記に出てくる阿多隼人、笠沙。幾度もの苦難の末に秋目に入港した鑑真の話、坊津は遣唐使船の港があった所です。江戸時代になると密貿易時代の話などもあります。万之瀬川流域は平安時代後期以降、交易が盛んな時期があり唐人町（唐仁原）がありました。とても興味深い地域だと思えます。

南さつま市の加世田に妻の実家があります。結婚して20数年経ち、南さつまには数えきれないほど通ってきました。しかし、本腰を入れて南さつまの写真撮るようになったのは、ここ1〜2年程前からです。不思議なもので、目の前にどんなに素晴らしい存在が

あつても、その良さに気づき、心の底から良いと感じるタイミングは人によつて個々でバラバラだということ。僕の場合は1〜2年程前からです。それまで妻の帰省のお供ということで、夫婦の習慣で昼間に行くことが殆どでした。目の前の景色が素晴らしいけれども、長い年月が経つうちに、



金峰山の麓の水田／金峰町（2021年5月4日）



沖秋目島／後藤鼻展望台の近くより／坊津町秋目（2021年9月5日）



万之瀬川／加世田上ノ山橋の上空よりドローン撮影（2021年11月3日）



屏風岩（立神）を昇る天の川／笠沙野間池・後浜展望所（2021年10月4日）



斎藤茂吉の碑のある展望所より野間岬をのぞむ（2021年9月23日）

日の出前の金峰山（2021年10月14日）

南さつま海道に魅せられて

絶景の宝庫、金峰・大浦・笠沙の風景を撮り歩く

写真・文／西元大作

令和2年度 収支計算書

会計担当 松永幹太 ● 監事 野元茂樹・福山厚裕

至 令和3年3月31日

【収入の部】

科目	予算額	決算額	増減
年会費交付金収入	48,000	51,000	-3,000
終身会費交付金収入	16,000	13,000	3,000
支部総会祝金収入	0	0	0
周年企画補助収入	0	0	0
支部事務費補助収入	20,000	20,000	0
支部会報発行助成収入	50,000	40,000	10,000
ホームページ助成収入	10,000	10,000	0
総会特別企画補助収入	0	0	0
女性参加促進助成収入	0	0	0
各種支部企画補助収入	0	0	0
支部総会通信費収入	-25,000	7,737	-32,737
小計①	119,000	141,737	-22,737
支部総会参加費収入	165,000	0	165,000
支部会費収入	103,000	0	103,000
寄付金収入	10,000	20,000	-10,000
預金利息収入	10	2	8
雑収入	10,000	0	10,000
負担金収入	10,000	16,000	-6,000
小計②	298,010	36,002	262,008
収入計③=①+②	417,010	177,739	239,271

- ① 1,000円×51名
- ② 1,000円×13名
- ③④ 新型コロナ中止
- ⑤ 役員会負担金
- ⑥ 臨時役員会14名(ホテルユニオン)
- ⑦ 総会資料を含む
- ⑧ 新年会中止
- ⑨ 総会資料17,724円、発送費19,070円
- ⑩ 豚骨ラーメン18ケース+送料1,950

【支出の部】

科目	予算額	決算額	増減
支部総会関連費支出	150,000	31,960	118,040
支部会報作成費支出	83,000	127,820	-44,820
支部活動費支出	80,000	80,000	0
地区活動費支出	0	0	0
会議費支出	25,000	25,439	-439
通信費支出	35,000	37,344	-2,344
印刷費支出	20,000	20,000	0
事務用消耗品費支出	1,000	10,000	-9,000
旅費交通費支出	0	0	0
慶弔費支出	20,000	0	20,000
渉外費支出	0	0	0
雑支出	0	0	0
激励費	29,569	0	29,569
ホームカミングデー	11,000	0	11,000
東洋大社会貢献センター	0	7,763	-7,763
予備費支出	22,010	22,010	0
支出計④	476,579	240,326	236,253
当期収支差額⑤=③-④	-59,569	-62,587	3,018
前期繰越収支差額⑥	314,095	314,095	0
次期繰越収支差額⑦=⑤+⑥	254,526	251,508	3,018

次期繰越収支差額の内訳	現金	51,143
	普通預金	203,383
	計	254,526

上記のとおりご報告いたします。
 令和3年3月30日 支部長 西村 正一郎 (印) 会計担当 松永 幹太 (印)

上記決算報告について監査の結果、適正であると認めます。
 令和3年8月23日 監査 福山厚裕 (印) 監査 野元茂樹 (印)

令和3年度 支部予算書

会計担当 松永幹太

至 令和4年3月31日

【収入の部】

科目	令和3年度 予算案(イ)	令和2年度		増減 (イ)-(ロ)
		予算額(ロ)	決算額	
年会費交付金収入	51,000	48,000	51,000	3,000
終身会費交付金収入	13,000	16,000	13,000	-3,000
支部総会祝金収入	0	0	0	0
周年企画補助収入	0	0	0	0
支部事務費補助収入	20,000	20,000	20,000	0
支部会報発行助成収入	40,000	50,000	40,000	-10,000
ホームページ助成収入	10,000	10,000	10,000	0
総会特別企画補助収入	0	0	0	0
女性参加促進助成収入	0	0	0	0
各種支部企画補助収入	0	0	0	0
支部総会通信費収入	5,000	-25,000	7,737	30,000
小計①	139,000	119,000	141,737	20,000
支部総会参加費収入	150,000	165,000	0	-15,000
支部会費収入	100,000	103,000	0	-3,000
寄付金収入	10,000	10,000	20,000	0
預金利息収入	10	10	2	0
雑収入	10,000	10,000	0	0
負担金収入	10,000	10,000	16,000	0
小計②	280,010	298,010	36,002	-18,000
収入計③=①+②	419,010	417,010	177,739	2,000

【支出の部】

科目	令和3年度 予算案(イ)	令和2年度		増減 (イ)-(ロ)
		予算額(ロ)	決算額	
支部総会関連費支出	180,000	150,000	31,960	30,000
支部会報作成費支出	83,000	83,000	127,820	0
支部活動費支出	100,000	80,000	80,000	20,000
地区活動費支出	0	0	0	0
会議費支出	25,000	25,000	25,439	0
通信費支出	37,000	35,000	37,344	2,000
印刷費支出	10,000	20,000	20,000	-10,000
事務用消耗品費支出	10,000	1,000	10,000	9,000
旅費交通費支出	0	0	0	0
慶弔費支出	20,000	20,000	0	0
渉外費支出	0	0	0	0
雑支出	0	0	0	0
激励費	0	29,569	0	-29,569
ホームカミングデー	11,000	11,000	0	0
東洋大社会貢献センター	0	0	7,763	0
予備費支出	5,000	22,010	22,010	-17,010
支出計④	481,000	447,010	240,326	33,990
当期収支差額⑤=③-④	-61,990	30,000	-62,587	-91,990
前期繰越収支差額⑥	251,508	314,095	314,095	-62,587
次期繰越収支差額⑦=⑤+⑥	189,518	284,095	251,508	-94,577

上記のとおりご報告いたします。
 令和3年3月30日 支部長 西村 正一郎 (印) 会計担当 松永 幹太 (印)

令和3年度	校友会鹿児島県支部	内容
1	16	校友会鹿児島県支部新年会 中止 @ホテル タイセイアネックス
	23	支部助成金申請書提出 西村・西元
3	2	支部総会(役員会)報告書提出 西村
	17	校友会九州支部長ZOOM会議 西村・松下・西元・池田 @東洋警備
4	10	校友会九州支部長ZOOM会議 @西元宅 西村・西元
	29	平川久嘉氏(菴美)春の叙勲「旭日双光章」受賞 本部報告 岩城
5	7	7月10日予定の支部総会を10月23日に延期とする 西村・松下・松永・西元 @電話会議
	12	東洋大学「Hands to Hands」へ 鹿児島限定「うまかつちゃんラーメン」を送る 西村
8	6	10月23日総会・懇親会について役員会 中止決定 岩城・西村・松下・松永・西元 @ホテルユニオン
	23	会計監査 野元・福山・松永・西村 @サンロイヤルホテル
9	11	令和3年度支部臨時会報発送 西村・松下・松永・西元 @東洋警備
10	11	令和3年度支部会報企画会議 西村・松下・松永・西元
12	11	令和3年度支部会報発送作業 西村・松下・松永・西元・岩城 @東洋警備

令和3年度～令和4年度 役員構成

東洋大学校友会 鹿児島県支部

顧問	岩城 健 (S40・経済)
相談役	渋谷 俊彦 (S42・経済) 青木 寿男 (S41・経済) 高口 稔 (S34・文)
支部長	西村 正一郎 (S44・文)
副支部長	松下 健一 (S47・経法) 野村 涼子 (S45・観光) 松永 幹太 (S53・経済)
幹事長	西元 大作 (S60・法)
幹事	有馬 泰祐 (S40・経済) 大橋 紘一 (S42・社会) 横山 龍夫 (S44・文) 下原 実清 (S45・文) 時任 雅彦 (S60・経済) 池田 日道 (S63・観光)
監事	野元 茂樹 (S2・経済) 福山 厚裕 (S63・法)
校友会本部 代議員	松下 健一 (S47・経法) 西村 正一郎 (S44・文)

令和3年度版 発行/東洋大学校友会鹿児島県支部 令和3年12月吉日
 事務局/西元大作 〒890-0041 鹿児島市城西2-22-10-510 Tel.080-4174-7680
 発行総責任者/西村正一郎 編集長/西元大作 制作/西元大作